

6. 農芸化学科

(1)水口博行・松岡正信(1952):裸麦に対する熔成磷肥肥効試験について。
中国四国農研、(1):87～89。

(2)熊谷栄・後藤恭・堀千代二・松岡正信・中野隆司(1957):水稻の珪酸吸収及び珪カルの
肥効の年次産について。
徳島農試研報、(2):13～14。

(3)豊田壮逸(1957):那賀平野における施肥改善について。
徳島農試研報、(2):14～16。

(4)熊谷栄・豊田壮逸(1957):湿田における地下水位低下操作が水稻に及ぼす影響について。
徳島農試研報、(3):1～2。

(5)熊谷栄(1957):苦土欠乏土壤に関する調査研究。
低位生産地調査事業10周年記念論文集:803～812。

(6)熊谷栄(1959):開拓地上壤の概要－徳島県。
開拓地土壤調査事業10周年記念論文集:330～333。

(7)後藤恭(1959):和泉砂岩及び結晶片岩の風化土の若干の化学性について。
開拓地土壤調査事業10周年記念論文集:422～425。

(8)後藤恭・松岡正信(1960):秋落田における特殊団子肥料等の効果に関する研究。
徳島農試研報、(5):10～12。

(9)豊田壮逸・吉川治(1960):水稻に対する窒素施用法の一考察。
徳島農試研報、(5):13～15。

(10)後藤恭(1960):水稻に対する苦土と珪酸。
農及園、35(12):1933～1936。

(11)後藤恭・堀千代二・松岡正信(1962):温州蜜柑園の土壤の理化学性と収量の関係。
徳島農試研報、(6):1～3。

(12)松岡正信・後藤恭(1962):水田土壤の理化学性と深耕の効果。
徳島農試研報、(6):4～5。

(13)豊田壮逸(1962):徳島県佐那河内の水稻高位収穫に関する考察。
徳島農試研報、(6):7～9。

(14)松岡正信・後藤恭(1968):水稻に対する珪カル連用の効果について。
徳島農試研報、(10):15～20。

(15)後藤恭(1969):水田の土壤管理と施肥法の改善。
農及園、44(2):365～368。

(16)堀千代二・後藤恭(1969):ウメおよびクリ園の土じょう適地について。
徳島農試研報、(11):20～24。

(17)松岡正信・後藤恭(1972)そさいに対する磷酸肥料の適量に関する研究。
徳島農試研報、(13):1～5。

(18)山本英記・丸尾包治・後藤恭(1972):タケノコ園に関する土壤肥料学的研究(第1報)。
徳島農試研報(13):6～11。

(19)後藤恭・山本英記・川口公男・黒島忠司・井内晃(1974):レンコン栽培に関する土壤肥料
学的研究(Ⅰ)。土肥関西講要(昭50)、(21):73。

(20)川口公男・山本英記・黒島忠司・井内晃(1975):徳島県畑地土壤の生長有効水分に関する
研究(第1報)。
徳島農試研報、(14):43～47。

(21)山本英記・美馬克美・川口公男・後藤恭(1977):ハスの養分吸収量。
徳島農試研報、(15):7～14。

(22)美馬克美(1977):徳島県におけるカンショの亜鉛欠乏。
徳島農試研報、(15):15～20。

(23)川口公男・山本英記・黒島忠司・川尻啓介・松岡正信(1977):徳島県におけるコンニャク
の亜鉛欠乏。
徳島農試研報、(15):63～66。

(24)黒島忠司・糸瀬貞義・田原一寛・久保田増栄(1977):四国地域における農林畜産廃棄物の
有効利用。
実用化技術レポート(昭52)、(59):1～35。

(25)黒島忠司・福岡省二・井内晃・永井洋三(1978):おが屑・牛ふん尿混合物の堆肥化(第1報)
徳島農試研報、(16):48～57。

(26)黒島忠司・大江哲・豊田壮逸(1978):おが屑・牛ふん尿混合物の堆肥化(第2報)。
徳島農試研報、(16):58～65。

(27)黒島忠司(1978):地力増強のためのおが屑堆肥Ⅰ。
農及園、53(6):761～765。

(28)黒島忠司(1978):地力増強のためのおが屑堆肥Ⅱ。
農及園、53(7):910～914。

(29)黒島忠司(1978):地力増強のためのおが屑堆肥Ⅲ。
農及園、53(8):1007～1010。

(30)黒島忠司・井内晃・福岡省二(1979):おが屑堆肥の有効利用(第1報)。
徳島農試研報、(17):5～19。

(31)川口公男・丸尾包治・後藤恭(1979):タケノコ園に関する土壤肥料学的研究(第2報)。
徳島農試研報、(17):20～24。

(32)川口公男・岡田俊美・丸尾包治(1980):タケノコ園に関する土壤肥料学的研究(第3報)。
徳島農試研報、(18):6～11。

(33)井内晃・山本英記・川口公男・黒島忠司(1980):葉色によるイタリアン・ライグラス葉中
の硝酸態窒素濃度の推定。
徳島農試研報、(18):12～15。

(34)黒島忠司・早野恒一(1981):土壌中のフォスフォリパーゼCの活性、
土肥講要(昭56)、27:173。

(35)川口公男・岡田俊美・後藤恭・福良充雄(1981):イブキ栽培の土壌適地と養分収奪量。
徳島農試研報、(19):16～20。

(36)林甚太郎・川口公男・岡田俊美(1982):造成田における水稻、裸麦に対する三要素および
堆肥の連年施用効果。
徳島農試研報、(20):43～48。

(37)黒島忠司・山田真也(1982):おが屑堆肥の有効利用(第2報)。
徳島農試研報、(20):49～62。

(38)黒島忠司・早野恒一(1982):Phospholipase C activity in soil.Soil Sci.
Plant Nutr.、28(4):535～542。

(39)早野恒一・黒島忠司・大村裕顕・室井栄一(1983);トマト育苗床土のプロテインナーゼ、
フォスファターゼおよびグリコシターゼ活性について。
土肥誌、54:331～334。

(40)黒島忠司・中野隆司(1983):おが屑・樹皮の種類と生育阻害 第1報。生物検定による
生育阻害について。
土肥講要(昭58)、(29):121。

(41)川口公男・後藤恭(1983):阿讃山地における新規造成草地土壤の生長有効水分の特徴と
畑地かんがい効果。
徳島農試研報(21):16～21。